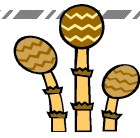


東小だより

第26号

桐生市立東小学校
令和4年3月14日
(文責 鈴木 智行)

やさしく かしく たくましい 東っ子



卒業間近、6年生からの贈り物



3月も中旬となり、6年生の卒業への準備が着々と進んでいるところです。3月4日(金)、11日(金)には6年間お世話になった学び舎への感謝の気持ちを込めて、廊下や特別教室、体育館などのワックスがけを行ってくれました。おかげで床がピカピカになりました。



また、学校の敷地内にはたくさんの木がありますが、下級生が何の木か分かるように6年生が木の名前を書いた手作りプレートを贈ってくれました。今後、生活科や理科の学習で役に立つ、素晴らしい卒業記念品となりました。本当にありがとうございます。

6年生が東小の児童でいられるのも、あとわずかとなり、卒業式に向けた練習も開始されました。残りの日々を、6年間の思い出や自分の成長を振り返りながら大切に過ごしてほしいと思います。



5年生 動く環境教室(3/10)

3月10日(木)、3・4校時、総合的な学習の一環として、群馬県環境サポートセンターの協力をいただき、「動く環境教室」を実施しました。まず、講師の先生から生活排水によってどの程度、川や海が汚れるのかについて説明を聞きました。

その後、牛乳やしょうゆなどを直接、排水溝に流した時の水の汚れ具合について、しょうゆ5mlを5ℓのバケツの水に流す実験によって調べました。1,000倍の水で薄めても水は薄茶色になり、元のきれいな水に戻すには大量の水が必要となることや、なるべく水をきれいな状態で返すため



には、あらかじめ汚れを布などでふき取るとよいということが分かりました。その他、3R(リデュース・リユース・リサイクル)についての説明を聞き、むやみに物を捨てず、工夫して生活することの大切さについて学びました。この学習を通して、家庭生活における水やごみとのかかわり方を見つめ直すきっかけになればよいと感じました。